学校番号	3035

令和８年度芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「MOUSA1」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽」「創作」「鑑賞」の４つの分野を、年間を通して学習します。
・学習の到達度は提出物や実技テスト等で評価します。
・音楽を幅広い視点から捉えることのできる力、自らが考える美しさを表現する力を身につけることを目指します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して，音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	歌唱基礎	【表現】 ・発声の基礎 ・2部合唱	a: より良い発声法について理解し、その技能を身に付けている。 b: 歌詞と表現との関わりについて考え、表現を創意工夫している。 c: 基本的な歌唱の技術を身に付け、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・観察 ・授業ノート	・授業ノート	・観察 ・授業ノート
	ギター演奏の初歩	【表現】 ・ギターを扱う上での諸注意 ・Em、E、Am、C、G 等のコードを練習曲で習得	a:基本的なコードを押さえて演奏する技能を身に付けている。 b:右手のタッチで音色が変化することを理解し、そのことと演奏表現との関わりを考え表現を創意工夫している。 c: ギター演奏の初歩的な技能を身に付け、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・授業ノート	・観察 ・授業ノート
	鑑賞演習(西洋音楽)	【鑑賞】 ・様々なギター音楽	a:ギターそのものや、ギターが用いられる音楽に関する事柄（文化、歴史、様式）について理解している。 b: 楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりを理解し、それを演奏から聴き取ることができる。 c:ギター音楽の鑑賞を通して西洋音楽の文化・歴史・様式を理解し、音楽の諸要素を感じ取る学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート	・授業ノート	・授業ノート ・観察

	ギター弾き歌い	【表現】 ・ギター弾き歌いの実習	a:コードを美しく奏する技術を身に付けている。 b: 歌唱の伴奏として相応しい音色と演奏表現との関わりを考え表現を創意工夫している。 c: ギター演奏・及び歌唱の応用的な技能を身に付け、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・授業ノート	・授業ノート ・観察
後期	ギター旋律奏	【表現】 ・ギター旋律奏の実習	a:ギターで旋律を美しく奏する技術を身に付けている。 b: 良い音色と演奏表現との関わりを考え表現を創意工夫している。 c: ギター演奏の応用的な技能を身に付け、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・授業ノート	・授業ノート ・観察
	鑑賞実技含む)演習(日本及び諸外国の音楽)	【鑑賞・表現】 日本の伝統音楽及び諸外国の音楽の歴史・文化を学ぶ	a:日本の伝統音楽、及び諸外国の音楽に関する事柄（文化、歴史、様式）について理解している。 b:日本の伝統音楽・及び諸外国に特徴的な要素を理解し、それを演奏から聴き取ることができる。 c: 我が国や郷土の伝統音楽・及び諸外国の音楽の特徴に関心をもち、実技や鑑賞を通して日本及び諸外国の文化・歴史・様式を理解し、音楽の諸要素を感じ取る学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・授業ノート ・提出物	・授業ノート	・授業ノート ・観察

	作曲実習	【創作】 提示されたテーマに沿って小品を作曲する	a:記譜のルール、音程、和音についての知識を身に付けている。 b:音程や和音の違いが生み出す表現効果を考え、自作品における表現を創意工夫している。 c: 基礎的な音楽理論に関心を持ち、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・提出物	・提出物 ・授業ノート	・提出物 ・授業ノート ・観察
	ミュージカル実習	【歌唱・表現】 ・小グループに分かれ、ミュージカルの1場面を発表する	a: 曲種に応じた発声、場面に応じた発話について理解し、実践できる技能を身に付けている。 b: 曲想や歌詞、台詞が表す情景や心情、ハーモニーや曲の持つリズムの特徴を理解し、そのことと演技・演奏との関わりを考え表現を創意工夫している。 c:応用的な歌唱・発話の技術を身に付け、それを生かしてより良い表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト ・授業ノート	・授業ノート ・観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度